

リトルワールドキャンプ 17 デーキャンプ

活動報告書



令和2年 11月
静岡県立大学公認クラブ
リトルワールドキャンプ実行委員会

I. 私たちのミッション

静岡県には、様々な国の文化を持った方々が住んでいます。しかし、日常生活でその文化に接する機会はあまり多くないように感じます。そこで、子ども達が異文化に興味を持ち、理解につなげる場を作りたいという思いから始まったのが、リトルワールドキャンプ（多文化共生キャンプ）です。私たちは、「多文化共生キャンプを企画・運営することによって静岡県内に住む子ども達が身近な異文化との関わりを意識して、それを受け入れていけるようなきっかけを提供する」というミッション（活動指針）のもと、静岡県内の小学 4, 5, 6 年生を対象に毎年静岡県内の様々な場所でキャンプを行っています。

II. 活動内容

11月29日に静岡県立大学にて、リトルワールドキャンプ17のデーキャンプを行いました。参加者は子どもが11名（日本の子ども4名、菊川市のブラジル人学校「CESC キクガワ」の子ども7名）、大学生スタッフ20名、通訳2名、顧問1名、CESC キクガワから引率教員1名の合計35名でした。毎年8月に静岡県内のキャンプ場を借りて二泊三日のキャンプを企画していますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため夏のキャンプを中止し、11月にデーキャンプという形でイベントを行いました。募集人数縮小や、事前から全参加者の健康状態の把握、三密回避や消毒・換気など、準備及び当日の感染対策を万全の上、当イベントを開催しました。

デーキャンプでは、はじめましての会、運動会、世界旅行、ファッションショー、おわかれの会の5つのプログラムを行いました。「はじめましての会」では、まず2グループに分かれて自己紹介を行いました。自己紹介では、初めて会う友達の話子どもたちみんなが興味深く聞いていました。その後「名前探しゲーム」という同じグループの子の名前が書いてある札を探すゲームを行いました。デーキャンプの最初のプログラムで、初めは不安や緊張している様子が見られましたが、名前探しゲームが始まると元気に遊んでいました。



「はじめましての会」が終わると、次に運動会を行いました。運動会では2チームに分かれ、玉入れやしっぽとり、新聞乗りじゃんけん、リレーを行いました。それぞれの競技では、スタッフも参加しました。運動会の初めの競技では、子どもたちはまだ緊張が残っており、外国と繋がりのある子どもたちは同じ外国人学校の生徒たちで

固まり、日本の子ども日本人同士で固まってしまっており、スタッフがコミュニケーションを取るように促す場面もありました。しかし競技が進むにつれて、チームの仲間を応援したり、言葉の異なる子ども同士でも通訳を介しながら、互いに思いや考えを伝え合ったりする姿が見られました。運動会では同じチームで協力することを通して、互いの距離が縮まったようでした。

午後の最初は、世界旅行というプログラムを行いました。子どもたち一人ひとりが手作りのパスポートを持ち、飛行機に見立てたブースを使って、アメリカ、ブラジル、日本を旅行し、各国の文化にちなんだゲームを行いました。アメリカでは早歩きで敵を追いかけ、ゾンビを増やしていく「ゾンビゲーム」、ブラジルでは飴玉を誰が持っているかを当てる「パサアネウ」、日本では紙飛行機飛ばしを、それぞれ3チームに分かれて行いました。ゲームのルールが複雑なため、理解するのに時間がかかる場面もありましたが、ゲームが始まるとみんな集中して同じチームの仲間と協力して取り組んでいました。各ゲームを通して、子どもたち同士でコミュニケーションを取れたことに加え、ブラジル、アメリカ、日本の文化に触れることができました。プログラムのコンセプトである「旅行をしている」という設定やゲームによって、子どもたちはより一層楽しさを増すことができたようでした。



世界旅行が終わると「ファッションショー」を行いました。グループごとに、作製する衣装のテーマとする国を相談して決め、それに沿って衣装を作りました。中国やアメリカ等の伝統衣装の絵を元に、布や紐、モールなどを使って自分なりに工夫して作ってくれました。衣装づくりではデーキャンプで一番集中していたのではないかとくらいに熱中して取り組んでいました。日本の子どもと外国の子どもが協力して

作っている様子も見られ、さらに子どもたちの距離が縮まったと思います。また衣装は自分の衣装ではなくグループの中のお友達の衣装を作りました。自分が一生懸命作った衣装を嬉しそうに着るお友達の様子を見ることができて、子どもたちはとても達成感を得て

いたようでした。最後は鮮やかな衣装を着てランウェイを歩き、決めポーズをして楽しみました。ステージの上では、観客のみんなに何の国の衣装を作ったのかクイズも行いました。どれも個性豊かな衣装で、素敵なファッションショーになりました。

デーキャンプの最後には、おわかれの会を行いました。大きな旗に一人一人の手形を押して大漁旗を作ったり、写真撮影をしたりして思い出作りをしました。大漁旗では、好きな色のペンキを選んで、オリジナルの手形を作って楽しんでいる様子でした。多くの子どもたちから「楽しかった」「来年も来たい」という声を聞くことができ、スタッフ一同嬉しく感じました。今年度のリトルワールドキャンプは、例年行っている二泊三日のキャンプと異なりデーキャンプという形での開催でしたが、一日という短い時間の中でも日本の子どもと外国の子ども同士が仲良く交流を深めることができました。言葉が通じなくてもジェスチャーを介してコミュニケーションを取ったり、ゲームの中で協力し合ったりする様子が多くみられ、子どもたちが異文化に興味をもつきっかけとなれる充実したキャンプになったのではないかと感じました。



《お問い合わせ・ご質問》

静岡県立大学公認クラブ リトルワールドキャンプ実行委員会

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学 リトルワールドキャンプ

Email little_world_camp@yahoo.co.jp

HP <http://littleworldcamp.jimdo.com/>